



愛郷心が生み出した美しい
瀬戸内ブルー Aji Glass

先進的な研究と先端技術の実証研究から新たな社会・ビジネスモデル実現の研究の場である香川大学イノベーションデザイン研究所のエントランスに飾られているのが、ガラス作家であり庵治石ガラスの生みの親として知られる杉山利恵さんの作品『Blue Birth』です。杉山さんのガラス工房とギャラリー「Rie Glass Garden」を訪ね、Aji Glass 創出の背景や作品への思いを聞きました。

造形研究所でガラスの基礎を学んでいた杉山さん。県外に出たことで、故郷の香川県の美しさをより感じ、その愛郷心をガラスに込めたいという思いが美しい瀬戸内ブルーの Aji Glass の創出に繋がりました。「ガラスを通じて地元を素晴らしい発信したいと思っていました。だからこそ香川に住む方からの『庵治石からこんな綺麗な色が出るの？』『すごいね』という声が強くなりました」と杉山さん。代表作の作品『幸せの蒼いとりさん』は、工房開設を手伝ってくれた友人に幸せのお返しとしてプレゼントし、大変喜ばれたことがきっかけでした。

Blue Birth

ひとしずくのキセキ

イノベーションデザイン研究所 エントランス展示作品
『Blue Birth』(2022) ▶
様々な人・モノ・コトが出会い 混ざり合い、ぶつかり合い、溶け合い… 化学変化が起きる。一つ一つの個性と軌跡が重なり ひとしずくの奇跡が産まれる。瀬戸内Blueが優しくきらめく… この地で。

個性と軌跡が重なり
産まれるひとしずくを表現

杉山さんの挑戦は続きます。オリブの生産者がオリブを燃やした灰を持ち込んだことが Olive Glass 創出のはじまり。「熱に弱い植物は無理だと思いつつ試作してみるとなんと2回目でも色が出て。でもそこから試行錯誤の連続。色が出なかつたり、黒くなつたり、全く違う緑になつたりと色が安定せず夜中まで工房に通う毎日。見かねた主人が冗談で『もう既存の染料を使えば』というぐらいの頃にふと『オリブ本来の色って何？』と思えました。葉の表や裏もそうですし、実の色も明るいグリーンから濃く変わっていく。そう思って並べてみると色々な色があるのがオリブの本来の姿だと気がついたのです」。実際にギャラリーに並べてみると、お客さんが『私はこれ』『この色が好き』とそれぞれが気に入った作品を手にし、楽しそうに選んでいる姿を見て、

杉山さんは自分の決断が間違っていたか、後悔した事はないかと。そして2023年『Aji Glass x Olive-Glass』の2色を使った『Aji & Olive』が誕生しました。蒼と緑のコントラストが美しいこの作品は『讃岐の風景を独り占めしているよう。海も山も風もひとつの作品にとじこめてみました』という実に杉山さんらしい柔軟な発想によるもの。あえて境目が出るように作ることにこだわりました。

イノベーションデザイン研究所のエントランスを飾る『Blue Birth』について「最初にお話をいただいた時に、イノベーションデザイン研究所の建物に込められた想いを聞いて、自分が作品を産み出した時の軌跡とリンクする、というのが率直な感想でした。別々のモノや思いが重なり合ったり、ぶつかったりした時に、今までなかったもの、奇跡的なしずくが産まれることに着想しました。蒼と透明のガラスが降り注ぎ、ひとしずくが産まれたところまでを表現し

ています。多様性のこの時代にあつてこの建物の中での人々の集い『創発』に重なければいけません。叶えてみたい夢について『私の作品には瀬戸内の海が似合うと思うので、海の見える場所で、使っている姿も見てもらいたい。工房とショップ、ギャラリー、カフェと一緒に作った場所を作れたら』と杉山さん。モノ作りについてのモチベーションは『ひとつは作品を手にした人が喜んでくれる幸せな感覚。もうひとつは手仕事を通じて自分がいいなと思うものを人に伝えていきたいという気持ち』。

学生に向けて『夢が目の前にたくさんある時期だと思えますが、どれを選んでも例え遠回りになっても好きな事を続けていけば自分を満たす場所に行き着くと思います。私も営業職などを経て現在に至っていますが、経験は決して無駄ではなく今の私を支えている糧になっています。』とエールを送ってくれました。



イノベーションデザイン研究所 3F エレベーター前展示作品
▲『New Blue Moon』(2022)
私たちは月の満ち欠けで呼吸をしている。全てがリセットされ1からの始まりを告げる新月。最も神聖で心を浄化してくれ。今から動き出す力をくれる私たちが動かす。優しく偉大な月。



▲2点の作品が展示されているイノベーションデザイン研究所



▲幸せの蒼いとりさん
曲線が好む杉山さんらしいコロンとした愛らしいフォルムは結婚式の引き出物や、ちょっとした贈り物にも大人気。写真は香川大の刻印が刻まれたオリジナル。



すぎやま りえ
Aji Glass 杉山利恵
香川県高松市生まれ。東京ガラス工芸研究所、富山ガラス造形研究所にてガラスの基礎を習得中、強い愛郷心に気づき2011年、Aji Glassを創出。故郷に戻り2013年、ガラス工房 Rie Glass Garden 設立。2020年、Olive Glassを創出。高松、東京を中心に個展・企画展多数。テレビ・ラジオ・新聞・雑誌などメディアにも多数取り上げられ、日々邁進中。